

日蓮大聖人御書全集

しじょうきんごどのごへんじ

四糸金吾殿御返事

ほけきようへいほう こと

（法華經兵法の事）

新版
1622
〜
1623

しじようきんごどのごへんじ

ほけきようへいほう

こと

四条金吾殿御返事（法華経兵法の事）

こうあん

ねん

がつ

にち

さい

しじようきんご

弘安2年（'79）10月23日

58歳

四条金吾

せんど

ごうてき

取

合

おんふみたま

くわ

み

先度、強敵ととりあいについて御文給いき。委しく見ま

そうろう

てきじん

狙

たま

いらせ候。さてもさても、敵人にねらわれさせ給いしか。

さきざき

ようじん

健

気

ほけきよう

しんじん

前々の用心といい、またけなげといい、また法華経の信心つ

ゆえ

なん

ぞんめい

たま

よき故に、難なく存命せさせ給い、めでたし、めでたし。

そ

うん

窮

へいほう

要

かほう

尽

夫れ、運きわまりぬれば兵法もいらず、果報つきぬれば

しよじゆう

従

せん

うん

残

かほう

控

所従もしたがわず。詮ずるところ、運ものこり、果報もひか

ゆえ

殊

ほけきよう

ぎようじや

しよてんぜんじんしゆご

ゆる故なり。ことに法華経の行者をば諸天善神守護すべき

由 ぞくるいほん せいじよう 立 たま いっさい しゅごしん しよてん

よし、囑累品にして誓状をたて給い、一切の守護神・諸天

なか われ まなこ み しゅご たも にちがつてん

の中にも我らが眼に見えて守護し給うは日月天なり。いか

しん につてん さき まりしてん

でか信をとらざるべき。ことにことに、日天の前に摩利支天

につてん ほけきよう ぎようじや しゅご たま しよじゆう

まします。日天、法華經の行者を守護し給わんに、所従の

まりしてん そん捨 たも じよほん とき みようがつてんし ふこう

摩利支天尊すて給うべしや。序品の時、「名月天子・普香

てんし ほうこうてんし しだいてんのう けんぞく よろず てんし とも

天子・宝光天子・四大天王、その眷属の万の天子と俱なり」

れつざ たも 摩利支てん よろず てんし うち

と列座し給う。まりし天は万の天子の内なるべし。もし内

じごく

になくば、地獄にこそおわしまさんずれ。

こんど だいじ てん 守 か てん

今度の大事は、この天のまぼりにあらずや。彼の天は

けんぎよう きへん 与

くだ

にちれん しゆだい

劍形を貴辺にあたえ、ここへ下りぬ。この日蓮は首題の

ごじ なんじ 授 ほけきようじゆじ

しゆご

うたが

五字を汝にさずく。法華經受持のものを守護せんこと、疑

摩利支てん

ほけきよう

たも

いつさいしゆじよう

いあるべからず。まりし天も法華經を持つて一切衆生をた

たも

りんぴようとうじやかいじんれつさいぜん

もん

ほけきよう

い

すけ給う。「臨兵闘者皆陣列在前」の文も法華經より出で

ぞつけん

きようしよ

じせ

ごごん

ししよう

べこうとう

と

たり。「もし俗間の經書、治世の語言、資生の業等を説か

みなしようほう

じゆん

んも、皆正法に順ぜん」とは、これなり。

ごうじよう

だいしんりき

出

たま

これにつけても、いよいよ強盛に大信力をいだし給え。

わ うんめい尽

しよてんしゆご無

恨

我が運命つきて、諸天守護なしとうらむることあるべから

ず。

まさかど

兵

な

へいほう

だいじ

極

将門はつわものの名をとり、兵法の大事をきわめたり。

おうめい

負

樊

噲

張

良

由

無

されども王命にはまけぬ。はんかい・ちようりようもよしな

し。

こころ

たいせつ

にちれん

祈

もう

ふしん

ただ心こそ大切なれ。いかに日蓮いのり申すとも、不信

濡

火口

ひ

打

掛

ならば、ぬれたるほくちに火をうちかくるがごとくなるべ

励

ごうじよう

しんりき

出

たも

過

し。はげみをなして強盛に信力をいだし給うべし。すぎし

ぞんめい ふしぎ

思

たま

存命不思議とおもわせ給え。

へいほう

ほけきよう

へいほう

用

たも

しよよ

なにの兵法よりも法華経の兵法をもちい給うべし。「諸余

おんてき

ざいめつ

きんげん

虚

へいほう

の怨敵は、みな摧滅す」の金言むなしかるべからず。兵法・

けんぎよう

だいじ

みようほう

しんじん

剣形の大事もこの妙法より出でたり。ふかく信心をとり

たま

おくびよう

かな

そうろう

きようきようきんげん

給え。あえて臆病にては叶うべからず候。恐々謹言。

じゅうがつにじゅうさんにち

十月二十三日

にちれん

かおう

日蓮 花押

しじようきんごどのごへんじ

四条金吾殿御返事